



今後の主な行事予定

【3月】

1(日)	第55回卒業式
2(月)	代休
4(水)	後期募集学力検査
5(木)	後期募集採点
6(金)	後期募集採点 (AM)
7(土)	春季特別課外①
8(日)	春季特別課外① 海外研修~14日 公立大学中期試験
12(木)	合格発表 国立大学後期試験
19(木)	新入生オリエンテーション
23(月)	生徒総会・球技会
24(火)	進路講演会①② 合格者体験談①② スタディーサポート②
25(水)	終業式・離任任式

※○数字は学年を示します

<センター試験から国公立大前期までを振り返って>

大学入試センター試験が1月18日(土)、19日(日)の2日間の日程で行われたのち、自己採点の結果を各予備校等に送り、23日(木)には志望校の合格判定が記載されたデータが返却されました。その翌日からすぐに、担任・学年主任・進路担当で3年生一人ひとりの進路志望を検討する志望校検討会を実施しました。この検討会では、センター試験の自己採点の結果と判定をもとに、各生徒の2次試験科目に対する得意・不得意といった学力的側面はもちろん、各家庭の事情や保護者の意向なども踏まえて、慎重に検討を行いました。国公立大の入試はその受験時期によって**前期(2月25日・26日)**、**中期(3月8日頃)**、**後期(3月12日頃)**と3期に分かれています。出願に関してはすべて2月5日(今年の場合)までに行わなければならないため、センター試験が終わってから出願に至るまでの期間は受験生はもちろん、担任の先生にとっても大変忙しい日程となります。検討の結果を踏まえて三者懇談を行い、担任の先生からアドバイスと調査書をもらい、やっと出願となります。

今年の**センター試験**は、文系・理系とも**全国的に平均点がダウンする**見込みとなり、特に**数学ⅠA(前回比-7.82)**や**英語筆記(前回比-6.99)**といった多くの受験生に関係する科目が平均点を大きく下げたことが原因だと考えられます。本校は、全国比で言えばほぼすべての科目でプラスなのですが、**数学ⅡB(-0.23)**と**物理基礎(-4.49)**はマイナスとなってしまいました。文系の5教科8科目と理系の5教科7科目の平均点についても、それぞれ大きく前年よりマイナス(文系-49、理系-35)となり、その結果、出願に際してもやや弱気な姿勢がうかがわれました。この傾向は全国的にも同様ですが、これまでも指摘されていたように、現3年生の世代は、次年度以降、入試制度改革によりセンター試験が廃止され**大学入学共通テスト**に変わることを考え、浪人を敬遠する**安全志向**や、私大の**定員管理厳格化**による**難化**などを危惧し、推薦やAOから受験してできるだけ早期に進学先を決定したいと考える生徒が多い傾向が見られていました。そうした状況の中、さらに今回のセンター試験の平均点ダウンという結果が追い打ちとなり、国公立大の出願に対して一層慎重になったのではと考えられます。

年度による多少の難易差はありますが、5教科での全国平均はおおむね**得点率6割以上**となっており、**国公立大に合格するためには、最低でも6割を超える得点**を取らなければならないと言えます。現**2年生の皆さん**は次年度に向けて、センター試験本番演習として、今年度の問題にチャレンジしてみましたが、手ごたえはどうだったでしょうか。出題は教科書の範囲を

超えず、基礎力を試す試験といわれるセンター試験ですが、それでも高得点を取るためには「**実力**」が必要だと認識できたのではないのでしょうか？そういう意味では、自分の現状を把握し、**進路目標までの距離感**を意識する良い機会であったと思われます。センター試験の範囲は、日常の学習内容そのものです。**毎日の授業にしっかり取り組み、基本事項の確実な習得に努めてください**。2年生の皆さんにとっては、センター試験という名称こそなくなるものの、大学入学共通テストになっても、試験で問われる力に変わりはありません。1年後の受験に向けてよいスタートを切れるように、「**3年生0学期**」といわれる現在の期間を大切にしてほしいと思います。

1年生の皆さんもあつという間に高校生活の3分の1が終わろうとしています。1年前に南高に入学してきたときの気持ちを思い出ししてみてください。**今の生活や学習態度は、その時思い描いていた未来の自分の姿と一致しているでしょうか？**もし、初心を忘れてしまい、悪い意味での「慣れ」が出てきてしまっているとすれば、これまでの生活を振り返り、学習面と生活面の両面での反省点を踏まえて課題を明確にし、その克服にぜひ努めてほしいと思います。

さて、**3年生の皆さん**、私大受験が終わり、国公立大の前期日程も終了しました。数日後には卒業式ですが、まだ進路が決まっておらず、落ち着かない日々を過ごしている人がほとんどだと思います。でも、国公立大学を目指す人にとっては、それが普通なのです。これから入試は中期、後期とまだまだ続きます。前号にも書きましたが、**合格の秘訣は最後の最後まであきらめないで受験すること**なのです。特に今年のようにセンター試験の平均点がダウンしているときは、全国的に皆が弱気になっています。だからこそ、最後まで強い気持ちをもって、あきらめず粘り強く受験すれば、きっと合格を勝ち取れるでしょう。**勝負はまだ終わっていません**。ぜひ、最後まで気持ちを切らさず、志望校の合格を勝ち取ってくれることを期待しています！！



<令和3年度入試（現2年生対象）はどんなふうになる？>

高大接続入試改革に伴い、次年度からの大学入試は「何」がどのように変わるのか見ておきましょう！

入試改革の目的：（特にAO・推薦などの）**学力不問の入試⇒「*学力の3要素」をバランスよく測る入試へ**

*「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」

①多面的・総合的な評価の強化

- ・筆記試験以外の方法を活用した入試を大学に促す
具体的には⇒エッセイ、志望理由書、学習計画書、面接、討論、プレゼン、小論文など
- ・「主体的に学ぶ態度」の評価を教科
具体的には⇒調査書、活動報告書、顕彰記録、資格・検定試験結果、推薦書など

②「学力の3要素」を軸とした入試区分

・「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」に基づく入試区分

<これまで>

<これから>

一般入試	主に筆記試験	→	一般選抜	学科試験中心（共通テスト・個別試験・調査書を利用した主体性評価）
AO入試	学力以外の評価を重視	→	総合型選抜	志願者の表現能力や意欲等の評価重視（志願者提出の資料と丁寧な面接+学力を測る指標（共通テスト・学科試験）
推薦入試	学校長推薦 学力検査免除	→	学校推薦型選抜	高校在学中の学習成果や推薦書を重視（推薦書で学力の3要素を評価+学力を測る指標（共通テスト・学科試験）

上記のように、新入試では、これまでのAO入試や推薦入試ではあまり重視されてこなかった「学力」をきちんと測るような試験に変わっていきます。また反対に、一般選抜では「学力」以外をあまり重視してこなかった反省から、主体性の評価を行えるように調査書を利用するなどの変更が行われる予定です。

この変更を踏まえ、**これからの勉強で意識すべきこと**をまとめておきます。

- 「基礎」「基本」を大切に！新入試になってもこれは変わらない！
学校の授業を大切に、基礎固めをしっかり行う！テストや模試のやり直して弱点を発見し補強する！
- 総合型選抜・学校推薦型選抜は楽な入試方法ではない！
新入試では「学力」を重視する！一部の旧AOや推薦のように、「楽な道」だと勘違いしない！
焦らずにじっくり取り組むことが大切。現役生は最後まで伸びる！
- 自分のやりたいこと＝大学のアドミッションポリシーを確認！
大学のアドミッションポリシーをしっかり確認して、自分のやりたいことが大学で可能かどうか見極める！
入試問題は大学から受験生へのメッセージ。過去問から学ぶ姿勢を！

◇1・2年生の皆さんへ ～この時期の過ごし方～

3月7日(土)・8日(日)の2日間に実施される春季講座には1年生から昨年とほぼ同数の159名の参加申し込みがありました。今年は、昨年に引き続き予備校で定評のある古文の鳥光宏先生にご講義いただきます。2日間の集中講義という形式ですが、長年予備校で活躍されている先生の講座は、今後の学習への大きな刺激になるものと思います。テキストが配付されますので、事前準備をしっかりとし、積極的な受講をお願いします。

2年生は、3月の終わりにスタディーサポートが実施されます。スタディーサポートは、これまでの学習がどの程度定着しているのか、また応用問題や発展問題に対応できる力が身につけているのかを判定できるテストです。ぜひ、これまでの学習と学習習慣の振り返りとして有効に活用してほしいと思います。

定期試験終了後から新学年を迎える4月までの期間は大切な期間でもあります。落ち着いた生活を心がけ、新年度への準備をしっかりと進める工夫をしてください。